

## ■シーン（１）表面

- ・放課後の学校、兄の教室に訪れる設定。
- ・兄を誘って帰路につき、好意を寄せている様子を見せる。

### 【01A】

教室に近づいてくる足音	
兄の存在に気づいて→	……あっ、兄さん。 兄さんも今から帰り？ 私もそろそろ生徒会の用事終わるから一緒に帰ろうよ。  カバン取ってくるから校門あたりで少しだけ待っててね。
（少し間を置き）	（校門前に移動）
校門で待つ兄に→	……お待たせ、兄さん。 じゃあ帰ろっか？
取り留めのない話をしながら帰路につく。大人しそうな態度、控えめな笑顔。兄に懐いている感じ	……でね、そのクラスの子がすごく面白くて——。  ……ふふっ。 あっ、ごめんね、急に笑ったりして。  こうして兄さんと帰るのも何だか久しぶりだな、って思っ て。 前はよく一緒に帰ってたよね。

	<p>……うん、そうだね。  生徒会に入ってから毎日忙しくて、だんだん私だけ帰りの時間が遅くなっちゃったんだよね。  朝も普通の生徒より早く出ないといけないし……。</p> <p>でもね、最近はどうやく仕事も落ち着いてきたんだ。</p> <p>……だから、その、ね。  もし兄さんさえ良ければ、えっと……これからは一緒に学校行かない？  あっ、もちろん時間が合う時だけでいいよ。</p> <p>……理由？  ん～、特に深い訳は無いんだけど……ふふっ、やっぱり兄さんとお話してて楽しいからかな。  今までより時間に余裕が出来そうだし。</p> <p>……どう、かな？</p>
(少し間を置き)	(兄が承諾)
嬉しそうに安堵して→	<p>……良かった♪  これからも仲良くしようね、兄さん……♪</p>

## ■シーン（1）裏面

- ・翌日、空き教室で授業をサボる先輩に会いに行く。
- ・兄を帰路に誘ったのは先輩の指示であることが明らかになる。
- ・先輩に対しては兄への態度とは異なる、心からの愛情を向けている。
- ・命じられるがままに今後も兄を誑かすことに。

### 【01B】

教室に近づいてくる足音	
少し戸惑いながら→	お待たせしました、先輩……。 ……今日も空き教室で授業サボってたんですね。
機嫌を悪くした先輩に取り繕うように→	あっ、い、いえっ……全然いいんです。 先輩のお好きなように過ごしていただければ……。  ……は、はい。 先生には私から上手く言って誤魔化しておきますね。  多分……大丈夫だと思います。 自分で言うのはおこがましいんですが、生徒会に所属していることもあって、先生方には信用されていますから……。
	……はい、兄さんには先輩に言われた通りに接してきました。  ええ、あの人が私の兄さんです。 校門の前に立ってもらったのでよく見えましたよね……？
控えめで大人しそうな雰囲気→	……えっと、はい。  先輩に比べると、兄さんは細くて弱々しくて……妹の私から見ても……その、あまり男性としての魅力がありません……。  それに……話してくれる話題も当たり障りのないものばかりで。 昔はそんな兄さんの生真面目さが良い、って思っていたんですけど……。
最後に態度が変化。女の笑顔を浮かべつつ→	……けど。

	<p>そ、その、先輩みたいな男性を知ってしまったら。退屈すぎて全然つまらないです……♡</p>
(少し間を置き)	<p>(「ヒデー妹だなあ、オイ(笑)」などと言われた設定)</p>
口では批難していても全然怒っていない感じ。静かに馴れ初めを語り出す。	<p>もう、先輩が悪いんじゃないですか……♡</p> <p>私、先輩みたいな素行の悪い人はホントに苦手だったんですよ？ だから初めて先輩に見初められて口説かれた時も、どうやってお断りしようか……そればかり考えていました。</p> <p>なのに……先輩はそんな私を強引に口説き落として、デートにまで持ち込んできて。</p> <p>世間知らずだった私は、やむなくお付き合いしたカラオケで流されるままアルコールを飲まされて。</p>
次第に口調の中に色気が混じり出す。先輩に惚れ込んでいる雰囲気。	<p>……気付いた時にはもう手遅れ。 私は一晩中、先輩の逞しさを教え込まれて力づくで“先輩の女”に変えられてしまった……♡</p> <p>……私、これまで真面目に生きてきたつもりなので。 先輩みたいな悪い人とお付き合いするのが、こんなに刺激的だなんて知りませんでした……♡♡♡</p>
	<p>……でも先輩、これからどうされるんですか？</p> <p>言われた通りに今日も兄さんと学校に来ましたけど、先輩といられる時間が減って寂しいです……。</p>
(少し間を置き)	<p>(兄を誘惑して惚れさせろ、との指示)</p>
先輩の指示に戸惑いながら→	<p>……えっ！？ に、兄さんを私に惚れさせろ、ですか……！？</p> <p>でも、その……私と兄さんは兄妹ですし、それはちょっと……。</p>
先輩の機嫌を伺いつつ→	<p>あっ、い、いえ、ごめん……なさい。 私は先輩の女、ですから。 先輩に逆らうようなことはしません……♡</p> <p>……分かりました。 あまり気乗りしないけど、先輩のためなら……わたし、頑</p>

張ります……♡♡♡

■シーン（2）表面

- ・ 日を改め、休み時間に兄を昼食に誘う。
- ・ 態度は兄を慕う真面目な妹そのもの。

【02A】

昼休み、兄の教室を訪れて	あっ、兄さん。 兄さんもこれからお昼？  ……良かった、それじゃ私と一緒にどうかな？ 実は今日、ちょっとお弁当を作り過ぎちゃって。 屋上で一緒に食べよっか♪
（少し間を置き）	（屋上に移動）
屋上で昼食をとる。先輩に指示されたこともあり、兄との距離が妙に近い。	……はい、どうぞ♪ 少し形の悪いものばかりでゴメンね。 味は大丈夫だと思うから！  ……どう、美味しい？  ふふっ、良かった～♪ 兄さんに喜んでもらえて私も嬉しいよ。  あっ、ほら、お口にご飯ついてるよ。 じっとしててね……んしょっ。  くすっ……兄さんてば、妹に唇触られただけでどうして照れてるの？  ……えっ、私は食べないのかって？ え、えっとお……実はさっき間食しちゃって。 兄さんは男の人なんだからもっとイケるよね。  はいっ、“あーん”してあげるから沢山どうぞ♪
楽しそうな笑顔。でもちょっとだけ馬鹿にしてるっぽい……。	……くすっ、くすくすくすっ。 やだあ、兄さん、顔が真っ赤だよ。 兄妹なんだからそんな意識しなくていいのに……♪
元の大人しそうな雰囲気に戻って→	……嫌じゃなければ、これからも時々お弁当作るね。  お料理上手くなりたくって、兄さんにも協力してもらえると嬉しいな。  ……ふふっ、ありがとう♪ やっぱり優しくて好きだよ、兄さん。

## ■シーン（2）裏面

- ・同日、先輩にも昼食を振る舞う。
- ・兄に食べさせていた弁当は、先輩用の弁当の失敗作であることが明らかに。
- ・先輩に寄り添いながらフェラで性欲処理も快諾。

### 【02B】

兄との昼食を終えた後、空き教室にて。先輩に寄り添い、媚びを売るような笑顔を浮かべつつ→	<p>……はい、先輩♪ 今日のお弁当はいかがですか？</p> <p>……ふふっ、ありがとうございます。 先輩に美味しいって言ってもらえると、すっごく幸せです……♡</p> <p>ええ、実は何度か失敗しちゃったんですけど……失敗作はぜ〜んぶ兄さんに処理してもらっちゃいました。</p> <p>先輩用のお弁当には上手に出来た美味しいところだけ詰め込んでます♡</p> <p>先輩、次はどれがいいですか？ ……はい、こちらの玉子焼きですね。 どうぞ、先輩……”あーん”してください。</p> <p>……ふふっ、嬉しいな。 先輩に手料理を食べてもらえるなんて……♡ もっともっと、好きなだけ食べてくださいね。</p>
(少し間を置き)	(食事の後に性欲の処理も求められて)
戸惑いながらも従順に受け入れる	<p>えっ、食欲の後は……せ、性欲を満たしたい、ですか。 けど、ほら……もうすぐ午後の授業が……。 あっ、う、ううん、なんでもないです、平気です。 勉強なんかより、先輩の……目上の男性に従う方が大切ですから……。</p> <p>その、私で良ければ……お口でご奉仕させていただきます……♡</p>
衣擦れの音	(先輩の性器を取り出して)
先輩の下半身に跪き、陶醉したように→	<p>んっ……すごっ……。 先輩のイチモツ、もうガチガチに固くなってるんですね……♡</p> <p>……は、はい、何回見ても慣れません。</p>

	<p>色黒で……長くて、太くて。</p> <p>こんな逞しいモノに貫かれて、私は“先輩の女”にされたんだと思うと……とってもドキドキしてきます……っ。</p>
<p>亀頭にキス、竿を舐め回していく</p>	<p>はい……最初は亀頭にキス、ですよ。</p> <p>“私を女にしてくれてありがとうございます”っていう気持ちを込めながら……♡</p> <p>ん……ちゅっ……♡♡</p> <p>ふふっ、先輩の男らしいニオイ……すっごく素敵。 ちゅっ……ちゅっ、ちゅうっ……♡♡♡</p> <p>……この後は、そのまま先端に舌を押しつけて……ん、ふ……っ♡</p> <p>根元まで、ゆっくり竿を舐め回していきますね……。</p> <p>ん、う、う……じゅるっ……じゅるるっ……♡♡</p> <p>んっ、ふっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅぶぶっ……♡♡♡</p>
<p>袋を口に含んでいく</p>	<p>……はい、先輩に教え込まれた通りに、こちらの袋の方にもご奉仕します……♡</p> <p>歯を立てずに、唇で優しく挟み込むように……はむっ、んっ、んう……♡</p> <p>中の……玉にも、舌を這わせて……ん、う……♡</p> <p>んっ、じゅるっ……じゅるるっ……♡♡</p> <p>私の生温かい口内で、先輩の大切な袋をマッサージしますね……♡♡♡ ちゅるっ、じゅるっ……じゅるるるっ♡♡♡</p>
<p>一度性器から顔を離し、心底嬉しそうに→</p>	<p>……あは、スゴイ……どんどん固くなってる。</p> <p>先輩が私で興奮してくれてるんだと思うと、私……幸せです♡</p> <p>使ってください、私の顔……♡♡</p> <p>この顔についているお口は、先輩のための“穴”です……♡♡♡</p>
<p>性器全体を口に含み、しゃぶり回す</p>	<p>ん、う、じゅぶっ……ちゅるるっ……一気に……根元まで啜え込みます……っ♡</p> <p>じゅぶっ、ん……んっ……じゅぶ、ぶぶぶぶぶっ♡♡</p>



	<p>んぶっ、んっ、んっ、うっ、んんっ、う……♡♡♡ ん～……んうっ、んっ、ん、ん……！</p> <p>……っはあ、え、遠慮しないで、くださいね……？ 絶対、嚙んだりとしかしませんから……いつもみたいに、 両手で私の頭を掴んで……乱暴に“使って”いただいて構い ません……♡♡♡</p>
次第に激しくなっていく	<p>……あっ、ん♡♡♡ んぶっ、うっ、んぶ、んっ、んっ、ん——っ♡♡♡ ん、ん、ん、う、う、う♡♡♡</p> <p>……だ、出して……んぶっ、出して、んっ、ください…… っ♡♡♡ わっ、私で……んぶっ、き、気持ち良く……なって、くだ さい、先輩……っ♡♡♡</p>
ラストスパート、という雰 囲気	<p>んぶっ、んっ、んっ、んんんっ♡♡♡ んっ、んっ、んっ、んっ、んっ……んう……んううううう ううっっっ♡♡♡♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
嬉しそうに射精を受け止め 、顔についた精液もゆっく り味わうように舐めとる	<p>……はあっ、はあっ、はあっ……♡ 射精、してくれた。 逞しい先輩が、私の顔を使って射精してくれた……♡♡♡</p> <p>んっ、ごくっ……ん♡</p> <p>は、あ……っ、せ、先輩の味、ニオイ。 私の口の中、いっぱいに染み込んでます……♡♡♡</p>
陶醉した笑顔で→	<p>……はあ♡ あっ、ご、ごめんなさい、惚けちゃってました……。</p> <p>えっと、じゃあ私は今からでも授業に戻りますね。 なるべく優等生でいた方が先輩のお役に立てると思うので ……♡</p> <p>……あ、はい。 今日も兄さんと一緒に帰るつもりです。 先輩の言いつけ通り、頑張っあの人を落としてみますね ……♡♡♡</p>

■シーン（3）表面

- ・ 日を改め、この日も兄と一緒に帰宅。寄り道をして帰ることに。
- ・ 兄にわざと男女を意識させ、冗談交じりの軽いキスを交わす。

【03A】

放課後、兄の教室を訪れて	<p>……お待たせ、兄さん。</p> <p>うん、今日も生徒会の仕事は落ち着いたから大丈夫。一緒に帰ろっか♪</p> <p>……そうだ、せっかくだし少し寄り道していかない？</p> <p>ほら、駅前に新しくクレープ屋さん出来たよね。一度行ってみたかったんだけど、今までは帰りも遅かったし時間がなくて。</p> <p>お願い、兄さん……っ♡</p>
（少し間を置き）	（クレープ屋に移動）
クレープを食べつつ、奥手な兄を誘うように甘える	<p>……わっ、美味しい。</p> <p>この生クリームとか……んっ、すごい濃厚だよね……♡</p> <p>……どうしたの、兄さん？</p> <p>えっ、口の周りにクリームがついてる……？</p> <p>ん～、ふふふっ。</p> <p>じゃあ兄さんにとってもらいたいな、私……♡</p>
	<p>くすっ、そんなに恥ずかしがらないで。</p> <p>唇の横についちゃってるんだよね？</p> <p>手で拭って、兄さん……。</p>
（少し間を置き）	（クリームを手で拭う兄）
異性を意識させる、妙に好意的な態度	<p>……ふふっ、ありがとう。</p> <p>兄さんに触れられるのも久しぶりだね♡</p> <p>どうかな……私の肌、柔らかかった？</p> <p>昔と違って女の子らしくなってるでしょ……♡</p> <p>……どうしよ、なんだか私も恥ずかしくなってきちゃった。</p> <p>だって兄さんの方もすっかり男の子らしくなってるんだもん。</p>

	兄妹じゃなければ放っておかないかも、なんてね……♡
本気だと思わせるような雰囲気→	<p>……冗談じゃ、ないんだよ。 ホントにそう思ってる……って言ったらどうする？</p> <p>……ね、兄さん。　少し私に顔を寄せて、耳を貸して。 お願いしたいことがあるの……♡</p>
そっと囁くように→	<p>あのね、兄さん……。</p> <p>私と……試しに“キス”してみよっか……♡</p>
冗談ばい、ほんの遊びとでも言うような軽い口調で→	<p>くすくすっ、そんなに驚かないで？ ちょっとした“遊び”だよ、これくらい……♡</p> <p>きっと今の私たち、周りの人からは恋人同士に見えるんじゃないかな……。 そう考えたら、恥ずかしさを飛び越えてドキドキしてきちゃって。</p> <p>　少しだけ……少しだけ、唇近づけてみよ……？ ほら、もうこんなに顔が近いんだもん。</p>
(少し間を置き)	(次第に顔が近づいて)
最後は自分から唇を奪う→	<p>あと少しだけ……口元を寄せれば……。</p> <p>ちゅっ……♡ ふふっ……ちゅっ……ちゅっ……♡♡</p>
	<p>……んっ♡　くすっ……しちゃったね。 兄妹なのに……キス、しちゃった。</p> <p>どうだった、兄さん？　妹の唇の味は……♡</p>
謝りつつもちょっと小馬鹿にしてる感じ→	<p>……くすくすっ。　そんなに熱の籠った目で見ないで？ ごめんね、私も悪ノリし過ぎちゃったみたい。 最近“大好きな兄さん”と距離が縮められてるから、嬉しくてつい。</p> <p>……さ、“遊び”はこれくらいにして帰ろっか。 これからも仲良くしようね、兄さん♡</p>

### ■シーン（3）裏面

- ・ 同日、先輩との電話。兄との仲の進展を報告する。
- ・ すっかり先輩に入れ込んでいる様子を見せる。

【03B】

電話の呼び出し音	
電話口で→	あっ……もしもし、先輩ですか？ はい、はい……今日は兄さんとキスまで済ませました。
兄のことを蔑みながら笑顔で報告→	……くすっ、そうですね。 兄さんてば、私が少し顔を近づけただけで照れちゃって。  こんなコト言うのは可哀想だと思うけど、正直……ドン引きしちゃいました……♡  ……ふふっ、悪い女だなんて酷いです。 そんな風にしたのは先輩なんですよ？ 真面目に生きてきた私の人生を強引に歪めて、イケない価値観ばかり覚え込ませるんだもん……♡
普通の口調だけど平然と兄を見下し、馬鹿にしている感じ→	……えっ、どんなキスをしたか、ですか？  それはもう……先輩とのキスに比べたら、遊び同然のキスでした。 唇が触れても全然ドキドキしないし、すっごくたどたどしい仕草だったし……（笑）  でも、そんなキスでも兄さんは夢見心地、って感じの顔してました。  くすくすっ……きっと全然気づいてなかったんだろうなあ。 兄さんの触れたその唇が、つい少し前には 逞しい男性器を咥え込んでいた……ってコト♡  これって私の唇を通して、先輩のイチモツと間接キスしたようなものですね♡  実は内心、吹き出しそうになるのを懸命に堪えていたんです。 私の唇が先輩の……他の男性の色に染まりきってるなんて、想像もしてないと思いますよ。
	……ええ、今日の態度で確信しました。

	兄さんってば……間違いなく“童貞”だと思います(笑)
先輩に陶醉しながら→	<p>……はい、はい。</p> <p>分かりました、先輩に仕込まれた“女のカラダ”を使ってこのまま兄さんを絡め取りますね……♡</p> <p>だから、これからも私を先輩の女として可愛がってください……。</p> <p>私、先輩のことが大好きです……♡</p> <p>先輩のためなら、先輩が喜んでくれるなら、これからも何だってしちゃいます……♡♡</p>

#### ■シーン（4）表面

- ・ 日を改め、兄の部屋を訪ねる。一緒に登校することに。
- ・ 思わせぶりの態度を見せて期待を抱かせる。

#### 【04A】

自宅、兄の部屋を訪ねて (少し間を置き)	おはよう、兄さん。 今日一緒に学校行こうね♡
からかうような笑顔で→	くすっ、なんでそんなに狼狽えてるの？ ……ああそっか、昨日キスをしたことをまだ気にしてるんだ。  私は兄さんとのキス、悪くなかったよ。 兄さんが望むなら、またシテもいいかなって思ってる。 ふふふっ、もちろん誰にでもこんなことは言わないよ？
一転、思わせぶりの真面目な口調で→	……兄さんだから。  他でもない、相手が兄さんだからキスしたいって思ったの。
兄を慕う素振りを見せて、期待を抱かせる	……あっ、ごめんね。 変なこと言っちゃったね。  その……ホント、兄さんって真面目で優しくて、私の理想としている男性像なの。  ……兄妹じゃなければ良かったのに、なんて考えちゃうくらい。  ……兄さんは、私のコト……どう思ってるのかな。  妹として、じゃなくて……1人の女の子として、少しは魅力を感じてもらえてるのかな……。
	……あはは、なんて……ねっ。 ホントごめん、なんかつい喋り過ぎちゃった。  ほら、急ごう兄さん。 早くしないと遅刻しちゃうよ♡

#### ■シーン（4）裏面

- ・ 日を改め、屋上で授業をサボる先輩に会いに行く。
- ・ 望まれるままに手コキで性処理。
- ・ 先輩の精液を手に染み込ませたまま、兄にも手コキをするように指示される。

#### 【04B】

授業をサボって屋上へ	<p>……お待たせしました、先輩。 今日は屋上にいらしたんですね♡</p> <p>ふふっ、一緒にいたいから授業をサボれだなんて。 いつも強引すぎです……♡</p> <p>お陰で最近はサボりの回数も増えて、先生方に言い訳する のも大変なんですよ？</p>
（少し間を置き）	（「なんだよ、俺と一緒に嫌か？」などと言われた設定）
嬉しそうに先輩に近づいて いく	<p>……ううん、全然嫌じゃないです。 先輩に求めてもらえるの、ホントに嬉しい……♡</p> <p>つまらない授業なんかより、愛しい先輩と過ごす方が全然 楽しいもん……♡</p>
望まれるまま手コキを快諾	<p>……あの、先輩。 それで今日は……えっと。 私のこと、抱いてもらえますか……？</p> <p>最近は兄さんに時間を取られて、あまり先輩と繋がること が出来てませんし……。</p> <p>……えっ、今日は手コキだけでいい……？ わ、わかりました……先輩がそうおっしゃるなら。 私、言われた通りにしますね……っ♡</p> <p>じゃあ、先輩はそのまま楽にしてください。 私の方が真横に座って、身体を寄せて……先輩の下半身に ご奉仕しますから……♡</p> <p>失礼、します……♡</p>
衣擦れの音	（先輩の性器を取り出して）
なんの抵抗もなく嬉々とし て性器に触れる	<p>……わっ♡ 今日もすっごくガチガチで大きい……♡</p> <p>熱くて、固くて……こうして指で撫でるだけでも、先輩の 逞しさが伝わってきます……♡♡</p>

<p>指を竿に絡ませながら前後に擦っていく</p>	<p>んっ……あはっ、握っても全然手に収まりきらない……♡  ……えっと、まずはゆっくりと優しく擦りながら、指のお腹で裏筋を撫でる……ですよね……♡♡</p> <p>ふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p> <p>握る強さにも緩急をつけて……それぞれの指もうねうね動かしながら。</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
<p>陶醉した笑顔で奉仕を続ける</p>	<p>……はい、分かりました。  もっとエッチな言葉で先輩に媚びろ、ですよね……♡  くすっ、無理やり抱かれた時に一晩かけて教え込まれたから。</p> <p>んっ……そうです、力づくで教え込まれちゃったんです。  この“おちんぼ”に服従するように。  この“おちんぼ”を悦ばせる、それを最優先に考えるように……♡♡♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
<p>先輩に身体を預け、甘えるように密着しながら扱き続ける</p>	<p>ふふっ、ふふふっ♡  先輩の分厚い胸板に身体を擦り寄せて、媚びた笑顔を浮かべながらシゴき続けます♡♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>ぷりぷり柔らかい亀頭にも、人差し指の腹を押しつけて…  …そのまま円を描くように動かしちゃいます……♡</p> <p>ぐにっ……ぐにっ……♡  私の身体を奪い取ったおちんぼの先端。  これを身体に挿れてもらうのが今は大好き……っ♡♡♡</p> <p>……大好き、大好きです、先輩♡  しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	<p>私の身体の温もり、感じてもらえてますか？  先輩が気に入ってくれた大きなおっぱいも、ぎゅっ！って胸板に密着させてるんですよ……♡</p> <p>この身体で先輩の手がついていない部分なんて、もう何処にも無いんです……♡</p>



	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡  ぜ～んぶ……根こそぎ先輩に奪い取られちゃいました……♡  ♡</p>
<p>だんだんと扱く速度が上がっていく</p>	<p>……好きなように射精してくださいね。  この手も先輩のモノです、先輩の性処理用の道具……♡  先輩に使っていただくためだけに、毎日お手入れをしてるんです……♡♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p> <p>射精してください、先輩♡  私を使って射精してください……っ♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡</p> <p>イッて先輩……っ、極太のおちんぽから濃い精子どぶどぶして……っ。 しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡</p>
<p>トドメと言わんばかりに射精を促す言葉→</p>	<p>はいっ……</p> <p>どぴゅー♡</p> <p>どぴゅー——♡♡♡</p> <p>どぴゅぴゅ～～～～♡♡♡♡♡</p>
<p>(少し間を置き)</p>	<p>(射精タイム)</p>
<p>精液を両手で受け止め、恍惚の表情</p>	<p>……あはっ♡ すっごいです、先輩の精子……。濃くて生臭い精液が、こんなに沢山……♡♡</p>
<p>雄の臭いにまみれて欲情している感じ→</p>	<p>……ああ……あああ……すごい、すごいよお……っ♡  男の人のニオイ、先輩のニオイ……♡♡</p>
	<p>……あっ、ごめんなさい。  思わず惚けちゃいました……♡</p> <p>最後にこの精子まみれの手を舐め取ればいいんですよ。ちゃんと教え込まれた通りにします……♡</p> <p>……えっ、今日は舐め取っちゃダメ？  このまま手に塗って染み込ませておく、ですか……？  わ、分かりました。でもどうして……。</p>
<p>(少し間を置き)</p>	<p>(その手で兄にも手コキをするように指示)</p>
<p>戸惑いながら兄に同情。し</p>	<p>……この手のまま、兄さんにも手コキを……っ？</p>

かし、その後で”先輩の女”として笑顔で快諾。

も、もう、先輩ってば根っからのサディストなんですね…  
…♡

他人の精子が染み込んだ手でシゴかれちゃうなんて、兄さんが可哀想すぎます……。

……くすっ。 もちろん逆らったりなんてしません。  
私は先輩に仕込まれた女ですから、先輩のご命令に従います……♡♡♡

■シーン（5）表面

- ・ 同日、放課後に兄を空き教室に連れ込んでいく。
- ・ そこで兄を誘惑、先輩からの指示通りに手コキを行う。

【05A】

放課後、兄の教室にて	にーいさんっ♡ ふふっ、もう帰る時間だよね。  ええっと……じゃあ、少しだけ待っててもらってもいいかな。 ほら、新館に空き教室があるでしょ？ 生徒会の備品をあそこまで運ばないといけなくて。
（少し間を置き）	（荷物運びを申し出る兄）
嬉しそうに微笑みながら→	……えっ、一緒に荷物を持っていってくれる？ くすっ、ありがとう兄さん♡ 実は優しい兄さんならそうしてくれるかな、って思ってたの。 それじゃ、急いで運んじゃおっか！
（少し間を置き）	（空き教室に移動）
	……んしょっ、これで良し……っと。 兄さんのお陰で助かった。  ……ああ、この教室が珍しい？ そうだね、普段の授業だと新館はあんまり使わないし、 この教室って一番奥にあるもんね。  なにか“特別な用事”でもなければ、こんな奥まった場所には誰も来ないんじゃないかな……♡
思わせぶりな態度で→	……ふふっ。  あれれ、どうしたのかな、兄さん。 なんだかちょっと緊張してない？  ……そうだよ、ここなら何をしても誰にも気づかれないの。 。
	ね、兄さん……♡ 私、ゆっくりと兄さんの傍に歩いていくけど……逃げたりしちゃ、イヤだよ……？
ゆっくりとした足音	

<p>兄の間近に迫り、本格的に誘いをかける</p>	<p>……くすっ、こんなに近くに来ちゃった。  思い出すよね、昨日のキスのこと……♡</p> <p>実の妹にこんなコト言われても、兄さんは困っちゃうと思うけど。　やっぱり私、兄さんのこと好きだな……♡♡</p> <p>兄さんも意識してくれてるんでしょ、私のこと……。ほら……だってここが膨らんでももの♡  兄さんの股間、とっても大きくなってる……♡</p> <p>ふふっ、私だってそれなりに“男性の身体の知識”はあるんだよ？  だから嬉しいの、兄さんが私で“こうなって”くれてるものが……♡♡</p> <p>……女として見てるよね、私のこと。</p> <p>ダメだよ、どんなに言い訳してもカラダが白状してるもの。  こうやって布越しに手のひらで撫でるだけで、くすっ……びくんびくん、って反応しちゃってるよ……？</p>
<p>蠱惑的な微笑みを浮かべ、奥手な兄を強引に押し切っていく</p>	<p>……ねえ、兄さん。　もう止まんないよ、私……♡</p> <p>兄妹だから我慢して抑え込んでいたけど、兄さんの方もこんなに興奮してくれるなら。  もっと“気持ちいいコト”しちゃってもいいんじゃないかな……♡</p> <p>ふふふっ、兄さんはそのまま棒立ちでいいよ。  これは私が勝手にシテることだから、兄さんは何も罪悪感なんて感じなくていいの。  実の兄に惚れ込んだじゃった駄目な妹が、強引に兄さんを襲ってるだけ。</p>
<p>兄を壁際に追い込んで唇を奪う。舌を絡めたディープキス。そのままの勢いで股間にも手を伸ばしていく</p>	<p>二度目のキスは……舌も入れちゃおっと……♡  ちゅっ……じゅるっ……んっ、ちゅっ……ちゅるっ……♡♡</p> <p>……ね、このまま流されちゃお……？</p> <p>キスをしながら兄さんのモノ、手で取り出してあげるね…  …♡  んっ……ふ……ちゅっ……んっ、んう……じゅるるっ……♡  ♡</p>
<p>衣擦れの音</p>	<p>(兄の性器を取り出す)</p>

<p>兄の性器が小さすぎて一瞬素に戻る……が、愛想笑いで取り繕う</p>	<p>……んふふっ、出た♡</p> <p>……ん～。でも、なんかこれ……。</p> <p>……あっ、う、ううん、何でもないよ♡ 想像より小さ……可愛らしいカタチしてるんだなー、って 思っ♡</p> <p>……そっか、これが兄さんの大切なイチモツなんだね……♡</p>
<p>慣れていないと言いつつ的確に弱点を突く</p>	<p>ふふっ、大丈夫だよ。 これを手で擦ると、男の人は気持ち良くなれるんでしょ？ ……えっと。こんな感じでいいのかな……くすっ♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p> <p>……慣れてなくって、上手に出来てなかったらゴメンね。 あんまり力を入れないように、前後に……しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
<p>小悪魔的に兄に擦り寄り、手コキを続けていく</p>	<p>あっ、兄さんの腰がぴくん、て跳ねた♡ そっか、やっぱりこうやってしこしこすればいいんだ？</p> <p>しこしこ……しこしこ……しこしこ……♡</p> <p>んふふっ、嬉しいな。 私の……妹の手で感じてくれてるんだね。 見て、兄さんのイチモツ。 私の手の中でこんなに暴れてる……♡</p> <p>しこしこ……しこしこ……しこしこ、しこしこ……っ♡♡</p>
	<p>くすっ、どうすればもっと兄さんを気持ち良くできるかな？ 経験少ないから分からないんだけど……う～ん、握ってる指も動かしてみようか♡</p> <p>ピアノの鍵盤を叩くように、指の1本1本をバラバラに動かして……ぐにぐに、しこしこシゴいちゃう……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡♡</p>
<p>手のベタつき＝手に染みつ</p>	<p>ふふふっ……どうかな、私の手。</p>

いた先輩の精液	<p>なんて言うか、ちょっとね、緊張して手がベタついてるかも知れないんだけど……。</p> <p>“気持ちいい”って思ってくれる……？</p>
性経験で兄を下に見ている、すっかりリードして手玉に取っている感じ→	<p>……良かった♡</p> <p>じゃあ少しずつシゴク速度を上げていくから、このままイッちゃおっか♡</p> <p>ふふっ、妹の前で自分だけイクのは恥ずかしい？</p> <p>ダメだよ、私はそんな兄さんが見たいんだもん♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>男の人が、兄さんが達する顔が見たいの♡</p> <p>射精する瞬間の顔……男の人が本能を見せる瞬間の顔。恥ずかしくても、私にだけは見せて欲しいな……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
だんだん抜く速度が増していく	<p>いい、私が“どぴゅー”って合図したらイッて見せてね。どんどんシゴくのを早めていくよ♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡</p> <p>イッて、イッて、イッて、兄さん……っ♡♡♡</p> <p>妹の前で射精するの、イク顔をぜ～んぶ妹に見てもらうの♡♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこっ♡</p>
トドメと言わんばかりに射精を促す言葉→	<p>は～いっ……</p> <p>どぴゅー——♡♡♡</p> <p>どぴゅぴゅ～～♡♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
見下した微笑み→	<p>……くすっ。 沢山射精できたね、兄さん♡</p> <p>この精子、私のことを考えて作り続けてくれてたのかな？</p>
	……大丈夫だよ、最初に言った通り、これは私が勝手にし

たことだから。  
兄さんは被害者、ただ私の相手をしてくれただけ。

それに……手で触っただけだもん。  
兄妹でもこれくらいなら平気だよ……ねっ♡

……でもね、兄さんさえ良ければこれからもこうやって私  
と遊んで欲しいな……ふふふっ♡♡♡

## ■シーン（5）裏面

- ・ さらに同日、再び空き教室で先輩と落ち合う。
- ・ 指示通りにしたことを報告しながら、先輩の求めに応じてパイズリ奉仕。
- ・ 次は兄からお金を巻き上げるように指示を受ける。

### 【05B】

兄に手コキをした後、再び 空き教室にて	先輩、言われた通りにしてきました。  ……はい、兄さんをこの空き教室に誘い込んだあと、手コ キでしこしこ抜いてあげました。  ふふっ、とっても気持ち良さそうにしちゃってましたよ？ 兄さんは先輩に感謝しないといけませんよね。 先輩が私に色々仕込んでくれたお陰で、あの人は妹とイイ 思いが出来たんですから……♡
	……ええ、本当はそのまま一緒に帰るつもりだったんです けど、こうして先輩に呼んでいただけたので。 適当な理由をつけて、一人で帰ってもらいました♡
先輩の求めに応じて胸での 性処理を快諾	それで私が呼び出されたのは……くすっ、また性処理のため なんですね……♡  分かりました、今度はこの大きなおっぱいを使って、先輩 にご奉仕いたします……♡
衣擦れの音	（先輩の性器を取り出す）
	……んっ、ふふっ♡  昼間に抜いたばかりなのに、またこんなにガチガチになっ てる……♡ やっぱり先輩みたいに筋肉がついてて逞しい男性は、こっ ちの方も元気なんですね……♡♡
先輩の前に跪いて嬉しそう にパイズリ奉仕	んっ、う……じゃ、じゃあ、勃起した“おちんぼ”……私の 谷間にずぶずぶ沈めちゃいまあす……♡  んっ、ふ、ん、ん……っ♡



	<p>……ああ、スゴい……先輩のおちんぼ、ホントにスゴいの……♡</p> <p>女の子のカラダを仕留める凶器って感じで……私が一晩で落とされちゃったのも納得です……♡♡</p>
<p>パイズリを続けながら、先輩と兄の格差を語っていく。兄の小さな性器を思い出し、改めて先輩の逞しさを実感。</p>	<p>……えっ、兄さんと比べてどうか……ですか？</p> <p>もう先輩ってば、そのために兄さんにも手コキをさせたんですね。私の口から、2人の差を語らせるために……♡</p> <p>んっ……分かり、ました……♡</p> <p>このままおっぱいでおちんぼシゴきながら、ご報告します……♡</p> <p>えっと、一言で言っちゃうと……全っ然違いました。</p> <p>先輩……んっ、この逞しいおちんぼとは、比べる対象にすらなりません……♡</p> <p>んっ、ふ、んん……っ♡</p> <p>に……兄さんには悪いんですけど、長さも、太さも……なにもかも先輩の方が格上……♡</p> <p>手の中にもカンタンに収まっちゃいましたし……シゴいてる最中も、「これで限界なの？」みたいなサイズだったんです……♡</p>
<p>先輩に心酔→</p>	<p>ふふっ、んふふっ……♡</p> <p>こうして先輩のおちんぼを胸の中に迎え入れてみて、改めて実感してます。</p> <p>んっ……先輩は、男性として……ううん、雄として優れているんだ……って♡</p> <p>私は先輩のような乱暴な人、嫌いだったはずなのに。そんな私の価値観をあっという間に作り変えてしまうくらい、優秀な雄……♡</p>
<p>兄には幻滅→</p>	<p>……それに引き換え、兄さんは。</p> <p>おちんぼを見ても、先輩より明らかに“劣った雄”って感じでした。</p> <p>それにあのキョドった態度、女の子慣れしてない童貞そのもので。</p> <p>正直、妹として抱いていた尊敬の念が全部消し飛んじやいました……(笑)</p>
<p>先輩に対して発情、なんで</p>	

も言うことを聞くような勢い→	<p>先輩は素敵です……先輩、先輩、せんばいっ……んっ、ん、ん、んっ……♡</p> <p>私、先輩の女になれて良かった……♡ 先輩の目に留まって、強引に口説いていただけて良かったです……♡</p> <p>んっ、う、んっ、ん……こ、こんなに強い男性の下半身に尽くしてるんだと思うと、女の子としての幸せを実感しちゃうの……♡♡♡</p>
	<p>射精してください、先輩……っ♡</p> <p>私の大きく育ったおっぱいの中で……どうか濃い精子をどぶどぶ射精してください……♡♡ ……来て、来て、先輩……っ♡♡♡</p>
じゅぶじゅぶ音	
絶頂をイメージさせる感じ→	あっ……ああああああっ……♡♡♡♡♡
波が過ぎて余韻に浸る感じ→	<p>……はあっ、はあっ、はあっ♡ すっごい……やっぱり兄さんなんかとは全然違う……♡♡ 量が多くて、濃厚で……ニオイも強烈。 ふふっ、“優秀な雄の射精”って感じです……♡♡♡</p>
	<p>……えっ、また私に頼みごとがある……？ はい、先輩の言いつけなら……私、なんでもします……♡</p>
(少し間を置き)	(兄のお金を搾取するように指示)
金銭が絡んで流石に気が咎める……が、先輩に捨てられたくなくて思い直す	<p>……に、兄さんからお金を巻き上げる、ですか……！？で、でも、えっと……流石に実の兄からそういうことは……。</p> <p>……あっ、ご、ごめん、なさい……っ！</p> <p>逆らいません……私、先輩の女ですから……逆らいません……っ。だから私のこと、捨てないでください……っ。</p>
すっかり先輩に依存→	<p>……は、はい……や、やり……ます。 兄さんからお金……巻き上げてきます。</p> <p>それで先輩が悦んでくれるなら、私……頑張って尽くします……♡</p>

■シーン（6）表面

- ・ 日を改め、兄の部屋を訪れる。
- ・ 甘えるようにおねだりをしながら、身体を使って兄を誘惑。
- ・ 手コキと引き換えにお金を差し出すように促していく。

【06A】

ドアをノックする音	
兄の部屋を訪ねる	<p>……兄さん、少し話があるんだけど部屋に入ってもいいかな？</p> <p>……ありがとう♡</p> <p>お邪魔しま〜す……ふふっ、こうやって兄さんの部屋に入るのも久しぶりだね。</p>
少し小馬鹿にした笑いを含みつつ、甘えるようにおねだり	<p>……くすっ。 そんなに目を逸らさなくてもいいのに♡</p> <p>妹にキスだけじゃなく“あんなコト”されたのが刺激的だった？</p> <p>ん〜、ふふふふ、まあいいや。 実はね、今日はお話っていうよりお願いがあって。</p> <p>えっと……あのね。 実はちょっと欲しいものがあるんだけど〜……。 少しだけ、ちょこっとだけお小遣いもらえないかな……？ ごめんね、急にお金をせびるようなことを言って。 でも兄さんだけが頼りなの……♡</p>
身体を使って兄を誘惑	<p>……んと、具体的な使い道は……デリケートなことだから言えないんだけどね。 その代わり……ちゃんとお礼もするよ、私。</p> <p>ほら、兄さん。 少しベッドの上に仰向けになってみて♡</p> <p>くすっ……私が訪ねてきた時点で、兄さんも期待してたんでしょ？ 仰向けに寝てくれたら、また私の手でしこしこしてあげる。 しかも、今度は添い寝をしながら……だよ♡</p> <p>さあ横になって、兄さん……♡</p>

(少し間を置き)	(ベッドに移動)
ベッドに寝そべって兄の身体に密着しつつ→	<p>……ふふっ、ちゃんとリラックスできてる？ いいんだよ、身体力を抜いて私に任せてくれれば。 私も兄さんの横に寝そべって、身体を密着させちゃうね… …♡</p> <p>……んっ♡ ふふふっ、兄さんのニオイがする♡ さあ、股間の方はどうなってるのかな……？ さわさわ、さわさわ～……♡</p>
衣擦れの音	(兄の性器を取り出す)
まるで年下の子をあやすかのように見下しながら→	<p>……わっ、もう準備オッケーみたいだね♡ じゃあ沢山“おてて”で搾り取ってあ、げ、る……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p> <p>くすっ……兄さんに密着してる私のカラダ、どうかなあ？ 男の人と違って、丸みがあって柔らかくて、 くっついてるだけでも心地いいでしょ……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p> <p>んふふっ、興奮するのは仕方ないんだよ。 私は妹だけど、一番食べ頃の“女の子”なんだから。 お年頃の男と女が密着してたら、変な気分になっちゃうのは仕方ないの……♡</p> <p>はいっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡♡♡</p>
先輩が喜びそうな金額を考えつつおねだり→	<p>……ね、兄さん。 私にお小遣い、くれるよね……？ 金額は……ええっと。 ……とりあえず3万くらいでいいのかな。</p> <p>あはっ、やだなあ、そんなに驚いちゃって。 兄さんはバイトもしてるし、堅実に貯金してるもの。 ……なんとかしてくれるでしょ？</p>
扱く速度を上げて兄を追い込むかのように責め立てる	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡ さんまんえん、妹に使って欲しいな～♡ お願い、兄さん♡</p> <p>さんまんえん、さんまんえんっ♡</p> <p>私のおねだり、ちゃ～んと聞いてくれるなら……次はもっと楽しいコトをして遊べるかもしれないよ♡</p>

	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	<p>……お互い、添い寝だけじゃ終わりたくないよね。</p> <p>実の妹が相手でも……“女の子のカラダ”、知ってみたいよね……♡</p> <p>私も兄さんともっと仲良くなりたい……♡</p> <p>だから、兄さんの頼れるところをしっかりと見せつけてもらいたい……♡♡</p>
<p>“妹に3万円出す”の部分 を強調。お金を貢がせるこ とを意識させる→</p>	<p>さんまんえん、ちょうだい、ちょうだい、ちょうだい…… っ♡♡♡</p> <p>ほら、兄さんの口から聞かせて。</p> <p>“妹に3万円出す”</p> <p>って声に出して言うの。 出来るよね、兄さん。</p>
<p>さらに強調、自身の口から 言うように示唆→</p>	<p>さあ繰り返して。</p> <p>“妹に3万円出す”♡</p>
<p>(少し間を置き)</p>	
<p>“貢ぐ側”だと自覚させる ために何度も何度も反芻さ せる→</p>	<p>……ん～、ふふふ。 ごめんね、よく聞こえなかった。 私に伝わるように、何度も何度も繰り返してみて♡</p> <p>しこしこしてあげるから、それに合わせて叫ぶの……♡♡</p> <p>はい、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>“妹に3万円出す”♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>“妹に3万円出す”、“妹に3万円出す”♡♡♡</p>
<p>(少し間を置き)</p>	
<p>馬鹿にしたような微笑みで 年下をあやすように→</p>	<p>くすっ……くすくすくすっ♡</p> <p>ありがとう兄さん、妹想いの兄さんを持って私はホントに 幸せ。</p> <p>じゃあ3万円の手コキ射精しちゃおっか♡</p> <p>……くすっ、実の妹に3万円を出して楽しむ射精。 きっとすっごく気持ちいいよ♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>

	<p>さあ、どぴゅーして。 真横で妹が見ている目の前で、どぴゅー——♡♡♡</p> <p>添い寝でしこしこされて、独りでどぴゅぴゅ～～～♡♡♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
内心「無様な姿だな～」とか思いつつ→	<p>ふふふっ、また私の前で無防備な顔を晒しちゃったね。</p> <p>いいんだよ……私は兄さんのことが大好きだから、私だけにはその恥ずかしいイキ顔を見せてもいいの……♡</p> <p>……もしかしたら、これからもお小遣いをおねだりしちゃうかもけど。 兄妹仲良くやっていこうね、兄さん♡</p>

## ■シーン（6）裏面

- ・ 同日、夜のホテルで先輩と落ち合う。
- ・ 兄に貢がせたお金をそのまま先輩に貢ぐ。
- ・ ご褒美として抱いてもらい、さらに深みにハマリ込んでいく。

### 【06B】

夜のホテル、先輩に媚びを 売る	<p>……せ～んぱい♡</p> <p>ふふっ、先輩にホテルに連れ込んでいただけるなんて久々ですね。</p> <p>力づくで処女を奪われた、あの時を思い出しちゃいます… …♡</p> <p>ええ、あの時の私は随分泣き叫んで。 先輩に対する嫌悪と拒絶しか頭になかったんですよ。</p> <p>くすっ、本当に馬鹿な女でした……♡</p> <p>いま思い返すと、なんで先輩のような強い男性に逆らおう としたんでしょう。</p> <p>私みたいな弱い女の子は、こうして屈服して媚びを売るのが お似合いなのに……♡♡♡</p>
兄から搾取したお金を躊躇 いなく先輩に貢ぐ	<p>……あっ、そうでした……お金、ですよ。</p> <p>はい、これが兄さんから巻き上げた3万円です♡</p> <p>ぜ～んぶ先輩に貢ぎますね……♡</p> <p>ふふっ、最初は兄さんからお金を取るなんて罪悪感を感じ ていたんですけど……。</p> <p>こうして立派で素敵な先輩に喜んでもらえるんだから、兄 さんも幸せ者だと思います♡</p>
	<p>ね、先輩……私、先輩の女としてお役に立てていますか？ もしお金が足りていなければ、私も何処かで稼いで……え っ、そんなことする必要はない？</p> <p>ああ、先輩って優しいんですね……♡</p> <p>……そっか、足りなければ兄さんに頑張ってもらえばいい んだ。</p> <p>あの様子だと、私のお願いなら何でも聞いてくれそうでした もん(笑)</p>
先輩の身体が自分で反応し ているのが心底嬉しそう→	<p>わっ、先輩の股間、バキバキになってますよ……♡</p> <p>先輩の言うことを聞けたご褒美に、ハメていただけるんで</p>

	<p>すね……♡♡</p> <p>……はい、来てください、先輩。          ベッドで四つん這いになるので、先輩に抱いていただいた初めての時みたい。後ろから乱暴に犯し抜いてください          ……っ♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(ベッドに移動)
後背位で先輩に抱かれて→	<p>んっ、う……っ♡</p> <p>せん……ぱい、入って、きてる……っ♡</p> <p>私の、身体の中に……先輩、きてる……っ♡♡♡</p> <p>うあっ♡ あっ、あっ、ああっ、あっ♡♡</p> <p>す、すごい、すごいい……♡♡</p> <p>わ……私の穴に、先輩の“肉”が、ぎっしり詰まってます…          …っ♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
激しい抽送に翻弄されるように→	<p>あうっ、あっ、あっ、あっ、あっ！</p> <p>ああ……ふあああ……っ、な、なんて……逞しいんだろ…          …っ。</p> <p>こ、こんなに暴力的に、腰を打ちつけられて……身体の中に……熱い棒を突き立てられてるみたい……っ♡♡♡</p> <p>うっ、嬉しい、です……先輩♡</p> <p>先輩に、女として使ってもらえることが……嬉しい……♡♡</p> <p>私、求めてもらえて幸せ、です……っ♡♡♡</p>
暴力的で強引な性行為に夢中になりつつ→	<p>うっ、あっ、あっ、あっ、ああっ……♡</p> <p>っ、っよい、っよい、っよい、っよい……っ♡</p> <p>こっ、これなの……この強引なセックスに、私……すっかり溺れちゃったの……っ♡♡♡</p> <p>あんっ、あっ、あああ……そ、そうだ……っ、お、お礼、言わなくちゃ……っ。</p> <p>せ、先輩に、そう教え込まれたんだった……っ♡♡</p>
	<p>……わ、私を犯してくださって、ありがとうございます…          …っ♡</p> <p>生真面目で、つまらない女だった私を……一人前の女にしてくださって、ありがとうございます……っ♡♡</p>



	<p>せ、先輩に口説かれて良かった……っ♡  目をつけられて、言い寄ってもらえて良かった……っ♡♡  ホテルに連れ込まれて、力づくでモノにされて。  新しい価値観、植えつけてもらえて良かった……っ♡♡♡</p> <p>ありがとうございます、先輩……っ♡  大好きです、大好きです、大好きです……っ♡♡♡</p>
	<p>うっ、あっ♡ あっ、うっ、うっ、あ、あ、あ♡♡♡  ……だ、射精してください、先輩♡♡♡  ナ、ナマでいいです、いいですから……っ、先輩の子種、  受け取りたい、です……っ♡♡♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
<p>余裕がなくなっていく喘ぎ  、最後の一際強い嬌声→</p>	<p>あっ、あっ、あっ、あっ♡♡♡  ど、どぴゅーしてください、先輩……っ♡♡♡</p> <p>私の袋めがけて……沢山どぴゅーしてくださいいい……♡♡♡  ♡♡</p> <p>……あっ、わっ、あ……っ、あっ……あああああああ……  っっ♡♡♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
<p>息を乱し、行為の余韻に浸  りながら→</p>	<p>……っはあ、ああ……あうう……♡</p> <p>き、きてる……お腹の中に……私のカラダの中に……先輩  の、強くて優秀な……遺伝子……♡♡♡</p> <p>わ、私……これからも頑張ります……♡  もっともっと、兄さんからお金を搾り取って……大好きな  先輩に貢ぎます……♡♡♡</p>

## ■シーン（7）表面

- ・ 日を改め、再び兄の部屋を訪れる。
- ・ ”セックスごっこ”と称して身体を武器にお金を貢がせていく。
- ・ 弱々しい兄の姿を見て、余計に先輩の逞しさを実感してしまう。

### 【07A】

ドアをノックする音	
兄の部屋を訪ねて	<p>……に～いさんっ♡ また少しお部屋にお邪魔するね。</p> <p>……ふふっ、実はさ。 またこの前みたいに、ちょっと助けてもらいたいんだ……♡ あ、“助ける”の意味は分かってるよね？</p>
小悪魔な感じ、先輩の影響を受けてだんだん口調が軽くなっていく→	<p>そう、また兄さんからお小遣いをもらいたいの。 ……えっ、この前のお金はどうしたのかって？ あれは～……えっと、大切なことのために使っちゃった♡</p> <p>でもね、まだまだ足りなくて。 兄さんならバイトのお金とかキッチンと貯金してるでしょ。 それを使って、困ってる妹をサポートしてくれると嬉しいなあ ……♡</p> <p>もちろんタダでとは言わないよ。 んー、そうだなあ……。</p> <p>……5万。</p> <p>5万円出してくれたら、今日は手コキよりも楽しいことをさせてあげる。</p>
	<p>ほらっ、見て……♡ こうして壁に手をついて、兄さんに向けてお尻を差し出すから。 このお尻に、兄さんの下半身を擦りつけてもいいよ……♡♡♡</p> <p>くすっ、どうしたの？</p> <p>……ふ～ん、ふんふん、普段と私の雰囲気が違う気がする……か。</p> <p>くすくすくすっ……実は最近、すごく尊敬できる先輩と知り合ったんだ。 でもその人、結構口が悪いところがあって。 私も少し影響受けちゃったのかも……な～んて、ね(笑)</p>

<p>兄に擦り寄りながら身体を武器におねだり</p>	<p>……けど兄さんだって、前とは違っちゃってるんだよ？</p> <p>だって実の妹とキスをして、実の妹の手で射精をして……もうフツの兄妹じゃなくなってるよね♡</p> <p>ふふふっ、兄さん……今さら罪悪感なんて抱いてもツマラナイよ♡</p> <p>それより、そこまで妹を女の子として見ちゃったんなら……ね、もうちょい冒険しちゃうよ♡♡♡</p> <p>……私の下半身、すっごく柔らかそうでしょ。ここに股間を擦りつけたら絶対気持ちいいに決まってる……♡</p> <p>大丈夫、大丈夫だよ。別に本当にセックスするわけじゃないんだから。</p> <p>これは“ごっこ遊び”。</p> <p>お互いに服を着たまま、下半身を擦り合わせるだけの単なる“セックスごっこ”……♡</p> <p>……くすっ、分かるよ。もう兄さんのイチモツはむずむずして落ち着かなくなってる。</p>
<p>小馬鹿にしたように「おいで、兄さん」→</p>	<p>ごまんえん。 5万円だけ妹に貢いで、溜め込んでる劣情を吐き出しちゃう？</p> <p>さあ……おいで、兄さん……♡♡♡</p>
<p>(少し間を置き)</p>	<p>(兄が身体に縋りついてくる)</p>
<p>年下をあやすような口調で→</p>	<p>……ふふっ、そうそう。 私の腰を両手で掴んで、股間をお尻にぐいっと押しつけるの♡ くすくすっ、上手に出来るかな？</p>
	<p>……はい、上手く出来たらそのまま腰を振ってみようか。</p> <p>ぐにぐに、ぐにぐにイチモツを押しつけて、気持ちよ～くなっちゃうね……♡</p> <p>ぐにぐに、ぐにぐに、ぐにぐに……っ♡</p>

(少し間を置き)	(腰をカクカク振ってくる兄を見て)
弱々しい腰振りを見て笑いを浮かべつつ→	<p>……んん～、ふふふ。 もうちょっと……男らしく振って欲しいかな。</p> <p>兄さんも一人前の男性だもん、頑張って腰振り出来るよね？(笑)</p> <p>ほら、私と本当にセックスをしていると思って、ずぶずぶ、ずぶずぶ、ずぶずぶ♡</p>
(少し間を置き)	(兄の情けない腰振りを見て)
「えっ、マジでこれが限界？」みたいな冷めた態度→	……ずぶずぶ、ずぶずぶ、ずぶずぶ。
(少し間を置き)	(弱々しい兄の態度を見て)
無様な腰振りにいよいよ耐えかねて呆れながら→	<p>……う、う～ん。 これは……あはは、どうしようかな(笑)</p> <p>えっと、兄さんってその、やっぱり女性経験……あんまり無いんだね。</p> <p>あっ、ごめんね！</p> <p>んと……別に理由はないんだけど、なんとなくそう思っちゃったの(笑) なんだか腰つきが不安定っていうか、不慣れっていうか……。</p> <p>んー……ふふふっ。</p> <p>どちらかって言うと、“ずぶずぶ”より“へこへこ”って感じ……？(笑)</p>
完全に馬鹿にしたような口ぶり→	<p>あっ、いま兄さんの股間がびくんで反応したよ♡ そっかー、そっか、そっか。</p> <p>“へこへこ”って合図してあげる方が、兄さんには喜んでもらえるのかな♡</p> <p>じゃあ……はいっ、へこへこ♡ へこへこ、へこへこ、へこへこ♡</p>

	<p>んふふっ、考えてみればお金と引き換えに実の妹のお尻に縋りついてるんだもんね。  そんな兄さんには“へこへこ”がお似合いかもしれない……♡</p> <p>はい、へこへこ、へこへこ、へこへこ♡</p> <p>やだぁ、必死に腰をカクつかせる兄さんの姿、ちょっと可愛いかも♡  いいんだよ、私にだけは恥ずかしい腰振りを見せても。妹に発情した姿、ぜ～んぶ見せちゃお♡</p> <p>へこへこ、へこへこ、へこへこ、へこへこ～～～♡</p>
(少し間を置き)	(懸命に弱々しい腰振りを繰り返す兄を見て)
先輩と比較しての眩き→	<p>……くすっ、にしても。  同じ男の人の腰振りでも、こんなに落差があるものなんだ。  全然違いすぎでしょ……(笑)</p> <p>……あっ、ううん何でもないよ、こっちの話♡  ほらっ、へこへこ、へこへこ、へこへこー♡</p>
(少し間を置き)	(へこへこ腰振り)
射精を促すようにだんだんと強い口調で→	<p>……このまま腰を擦りつけた刺激だけでイッちゃおうか♡  大好きな兄さんのイキ顔、また私の前で晒してみて？</p> <p>へこへこ、へこへこ、へこへこっ♡</p> <p>いーい、服を着たまま、パンツの中を精液まみれにしようね♡</p>
	<p>へこへこ、へこへこ、へこへこ、へこへこ、へこへこ……っ♡♡</p>
トドメといった感じ→	<p>……はいっ、どぴゅー——っ♡♡♡  妹との“交尾ごっこ”でどぴゅー——っ♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
	<p>……くすっ、くすくすくすっ。  上手にへこへこ出来たじゃない、兄さん♡</p> <p>じゃあ5万円のお小遣い。  私に……実の妹にちゃ～んと貢いでね♡♡♡</p>

## ■シーン（7）裏面

- ・同日、兄に貢がせたお金を先輩に手渡す。
- ・浅ましくお尻の穴を舐めて奉仕。
- ・お金を奪う罪悪感も消え失せ、今後も兄から搾取することを誓う。

### 【07B】

空き教室にて	……先輩、持ってきました♡ 今日は5万円……兄さんから搾り取っちゃいました♡
兄に対する罪悪感は無。先輩が喜ぶなら何でもします状態→	もちろん、これはそっくりそのまま先輩に全部貢ぎます♡ ……くすっ、悪い妹、ですか？ 私をそんな女に再教育したのは先輩じゃないですか……♡♡♡  兄さんがコツコツバイトをして、少しずつ溜めたお金。そんな大切なお金を、先輩はイケない夜遊びでカンタンに溶かしちゃうんですね。
	ふふふっ、文句なんてありません。  私は不良な先輩に惚れ込むように仕込まれちゃいましたから……♡ 強くて、悪くて、とっても魅力的な先輩。 その先輩に愛していただけるなら、何だってします……♡
（少し間を置き）	（性処理の要求を受けて）
笑顔でお尻の穴を舐めます宣言	……あっ、ふふっ♡ 嬉しい、今日も先輩にご奉仕できるんですね。  ……えっ、午後はサボってこのお金でパチスロに行くから、手早く抜いて欲しい……？ くすっ、分かりました。 私、先輩の女として性欲処理のためだけに使われます……♡ ♡♡
	……下、降ろさせていただきますね♡ 先輩はそのまま立っているだけで構いません……♡  私は先輩の後ろに回って、地面に膝をついて……んふふっ ……お尻の穴を舐めながら、手コキでしこしこシゴきますね♡
衣擦れの音	（先輩の服を脱がせる）

<p>背後から先輩の足元に跪いて</p>	<p>……ああ、スゴイ……♡          こうして足下に跪くと、先輩の逞しさがよく分かります。</p> <p>下半身にもしっかり筋肉がついていて、ゴツゴツと固くって……頼りがいがある強い男の人、っていう感じ♡</p>
<p>嬉しそうにお尻の穴に舌を這わせていく→</p>	<p>んっ……せんぱいの、お尻の、あな……♡          ちゅっ……んっ、ふ……ちゅっ……♡</p> <p>私、先輩と一緒に過ごすたびに……どんどんエッチになってます……♡          お尻の穴を舐めるなんて、普通じゃ……んっ、ありえない……のに……っ♡♡</p> <p>こ、こんな風に、ご奉仕してると……幸せ、なの……♡♡♡</p> <p>んふ、んっ、んっ……♡          強い男性に支配されるの、幸せ……♡          悪い男性に屈服して、価値観変えられるのが……こんなに刺激的だなんて……♡♡♡</p> <p>り、理性じゃ、こんなのダメって分かってるんです……♡          けど……んっ、う……ちゅっ、ぺろっ……♡          ……もう、このカラダが先輩を選んじゃう……♡</p> <p>女の私が……雌の私が、先輩を選べって言ってるんです……っ♡♡♡</p>
<p>後ろから手を伸ばして手コキも始める</p>	<p>はあ、はあ……先輩、しこしこシゴきながら同時にお尻の穴も舐めますね……？</p> <p>んっ……ぺろっ……ちゅるっ……♡          んふ、う……しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡♡♡</p>
<p>陶醉した態度で弱々しい兄と比較。兄の扱いがどんどん軽いものに→</p>	<p>やっぱり、兄さんなんかとは全然違う……♡          あの人、ホントにダメなんです。</p> <p>腰の振り方も、へこへこ、へこへこ弱々しいですし……先輩のような“男性のフェロモン”を全く感じません……。</p> <p>先輩とあの人じゃ、男としての格が違うんです。</p> <p>それがハッキリ分かったから、もう私……。</p> <p>兄さん……ううん、“アイツ”のことなんてどうでもいい♡</p> <p>私が想いを寄せるのは先輩だけです……♡</p>
	<p>んっ、ちゅっ、ちゅうう……れろっ……れろっ……♡          はあ、はあ……先輩、先輩、せんぱい……♡♡          敬意も、愛情も、私の心は全て先輩のモノです……っ♡</p>

	<p>だからアイツからはこれからも徹底的に搾取します♡ 別にアイツの人生なんてどうなっても構いません……♡</p> <p>先輩の人生が少しでも潤うのなら、いくらでもアイツのことを利用しちゃいます……♡♡♡</p>
	<p>……先輩、射精してください♡</p> <p>アイツの薄い精液とは比べものにならない、濃厚でどろっどろの精液を射精してください……っ♡♡♡</p> <p>んふう、んっ、うっ、ふっ……♡♡♡</p> <p>れろっ……れろっ……っはあ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡♡♡</p>
射精を促すトドメといった感じで→	<p>“どぴゅー”して、先輩……っ♡♡♡</p> <p>私を見て作り出した精子、思いっきりどぴゅーして……っ♡♡♡</p> <p>どぴゅー————っっ♡♡♡♡♡</p> <p>どぴゅぴゅー————っっ♡♡♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(射精タイム)
手のひらで射精を受け止め、それを愛おしそうに舐め取りながら→	<p>……あはっ、すごい……♡♡♡</p> <p>射精の瞬間、手のひらを前に出したら……ほら、こんなにべとべとになっちゃいました♡</p> <p>んっ……ぺろっ……じゅるるっ……♡♡♡</p> <p>私で発情してくださってありがとうございます、先輩……♡♡♡</p> <p>ちゃんと一滴残らず舐め取ります、飲み干します……♡♡♡</p>
	<p>……ふふっ、また兄さ……アイツから搾り取って、先輩が楽しく生活できるように尽くしますね。</p> <p>平気です、先輩の精子を受けるたびにアイツに対する興味がなくなってるので。</p> <p>くすっ……自分の立場、そろそろ分らせてやるつもりです……♡♡♡♡♡</p>



■シーン（8）表面

- ・ 日を改め、兄の部屋を訪れて金銭要求。
- ・ 兄のことを見下す態度を隠すこともせず、互いの立場を分からせていく。
- ・ もはや身体を使うこともなく、兄へのご褒美は「見てあげるだけ」。

【08A】

ドアをノックする音	
兄の部屋に入るなり、当然のように金銭要求	<p>兄さん、ちょっといい？</p> <p>ふふふっ……明日ちょっとお買い物に行くから、またお小遣いが欲しいの♡</p> <p>とりあえずまた5万あれば足りるかなあ。</p> <p>まだ貯金は平気だよねえ、兄さん♡</p>
断られるものの愛想笑いで食い下がる	<p>……えっ、ちょっとキツイ？</p> <p>私の頼みでも今回は厳しいって……？</p> <p>そこをなんとか助けてもらえないかな……っ♡</p>
さらに拒まれてしまい、不機嫌そうにボソッと→	<p>……はあ、ダメなんだ。</p> <p>兄さんてば、生意気だなあ……。</p>
開き直って馬鹿にした態度で→	<p>あっ、くすっ……聞こえちゃった？</p> <p>ん～ん、聞き間違いなんかじゃないよ。</p> <p>私、いま兄さんのこと“生意気”って言ったの。</p> <p>ふふっ、そんなに驚かないでよ。</p> <p>だって仕方ないよね、それが本音なんだから……♡</p> <p>まさか兄さん、自分のことを“尊敬される兄”だなんて思っ てないよね。</p> <p>くすくすっ、だとしたらホント笑っちゃう。</p>
	<p>……ま、確かに前は尊敬してたよ。</p> <p>生真面目で優しくて、妹としても見習おうって思った。</p> <p>ふふっ、ふふふふっ……でも、ねえ？</p> <p>最近の兄さんの姿を見たら、そういうのもう無理でしょ（笑）</p> <p>軽いキスまでは……まあ、100歩譲って大目に見ても。妹に 手コキされて興奮するのってどうなの？（笑）</p> <p>軽いキスまでは……まあ、100歩譲って大目に見ても。妹に 手コキされて興奮するのってどうなの？（笑）</p> <p>挙句の果てに、この前なんて腰にしがみついてへこへこと 腰を振る始末……♡</p>

	<p>兄さんて、見境なく発情するワンちゃんか何かですかー？（笑）</p> <p>んふふっ……あんな姿を見せられたら無理。 もう兄さんは尊敬の対象になんてなんないよ……♡</p>
	<p>……あ〜、そうだねえ。</p> <p>私にだけは恥ずかしいイキ顔を見せてもいい、そんなコトも言ってあげたっけ。 うん、別に見せてもいいよ。 兄さんが望むんならこれからも見てあげる、恥ずかしいトコロを♡</p> <p>だ、け、ど〜〜♡</p> <p>情けな〜い姿を晒すたびに、私の中の“兄さんへの好感度”は下がっていくよ♡ 当然だよ、実の妹に欲情しちゃうような人、フツーなら相手になんてしてもらえないよ。</p> <p>なのに……なんで私がこうして兄さんとお話を続けてあげているのか分かる？</p>
兄に立場を分からせるかのように強く「お・か・ね」→	<p>……お金だよ、お・か・ね♡</p> <p>兄さんがそれなりの金額を素直に出してくれるから、私も未だに付き合っているの。</p> <p>だからさ、兄さんがどうしてもお金を出したくない！っていうなら、もう私たちの関係はおしまい。</p> <p>尊敬できなくなった兄さんには何の興味も湧かないし、家でも学校でも一切近づかないでね♡</p>
すっかり兄を見下して言葉遣いも乱れていく	<p>……なあに、その縫うような目は。 くすっ、さては私に見捨てられたくないんだ？ そうだよね、せっかく仲良くやれてたんだもんね。 それに……私に抜いてもらえなくなるのが惜しいんでしょ。</p>
笑顔で馬鹿にしたように変態連呼→	<p>変態……♡ 変態、変態、変態……っ♡ 兄さんてばシスコンの変態なんだねえ（笑）</p>

	<p>それなら仕方ないね、諦めてお金を差し出すしかない♡</p> <p>私にお小遣いをくれるなら、これからも兄さんのことを好きでいてあげる。</p> <p>まあ、今までの“好き”とはちょっと違ってくるけど。</p>
	<p>ふふっ、もう出す気になってるよね、5万円♡</p> <p>強制はしないよ、無理に取り上げることはしない。</p> <p>……兄さんから私に手渡すの。</p> <p>兄さんを慰めてあげた、この小さくて柔らかい手のひらに、自分の意思でお金を乗せるんだよ……♡</p>
お金を手渡すように仕向ける強い一言→	は～いっ……兄さんの“誠意”を見せて♡
(少し間を置き)	(兄がお金を差し出してくる)
卑屈な兄を見て楽しげに褒める→	<p>……くすっ♡ くすくすくすっ、ありがとう、兄さん♡♡</p> <p>よく出来ました、えらいえらい♡♡♡</p>
	<p>んふふっ、これでまた先輩に褒めてもらえる……♡</p> <p>……ああ、こっちの話♡</p> <p>じゃあ約束通り、シスコンの変態兄さんに付き合っただけあげるね。</p> <p>ほら、イチモツ……ううん、“おちんぼ”出してごらん♡</p> <p>このあと予定があって時間ないからさ、さっさと脱ごうね？</p>
(少し間を置き)	(裸になる兄)
もう兄に対する敬意はゼロという感じ→	<p>……ん～、ふふふ。</p> <p>何度見直してもやっぱ租チンだなあ……(笑)</p> <p>なんか皮が多くて右曲がりになってる辺りも、普段の使われ方が想像できて情けないよね……くすっ♡</p> <p>……ああ、私の口調が変わってきてるのが気になる？</p> <p>ごめんねー、前に“尊敬できる先輩”がいるって話したでしょ。その人の影響を受けちゃってるみたい♡</p> <p>兄さんの前では一応気を遣ってたんだけど、もうその必要もないかな、って。</p>

	<p>そしたら……はい、私は兄さんの部屋の床に座ってちょっとスマホ弄ってるから。</p> <p>兄さんはそのベッドに座って、テキトーにしこしこしていいよ♡</p>
「見てあげるだけ」宣言	<p>……くすっ、なあに？</p> <p>もしかして妹に何かシテもらうのを期待してたの？(笑)</p> <p>言ったよね、“付き合っただけ”って。</p> <p>私、別に何かサービスするなんて言った覚えはないよ。</p> <p>兄さんの射精に付き合っただけ、ただそれだけ♡</p> <p>妹にオナミしてもらえるなんて、シスコンにはそれだけでご褒美でしょ。 ほら、勝手にしこしこどうぞ♡</p> <p>……あっ、でも早く終わらせてね。</p> <p>いま先輩と連絡取ってて、予定が決まったら出掛けちゃうからさ。</p> <p>そしたら兄さんがお楽しみの最中でも出てっちゃうよ♡</p>
床に座り、足を崩して小馬鹿にしながら挑発→	<p>くすっ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>特別にほら、足を崩して下着だけは見せてあげる。</p> <p>好きなだけガン見してオナッていーよ♡♡♡</p> <p>はい、しこしこ、しこしこ、しこしこ〜♡♡♡</p>
スマホを見ながら	<p>……おっ、先輩からメッセージだ。</p> <p>今日はご自宅にいるんだあ……♡</p> <p>あ、兄さんはその調子で勝手に頑張ってるね。</p>
先輩にメッセージの返信中	<p>……んと、予定通りいきました。</p> <p>今夜お伺いしてもいいですか……っと。</p>
先輩の魅力を幸せそうに兄に語る	<p>……なーに、兄さん。先輩のことが気になるのかな？</p> <p>くすくすっ……先輩はね、兄さんと違ってすっごく男らしいんだよ。</p> <p>ガッシリしてて筋肉もしっかりついてて、喧嘩もチョー強いんだって♡</p> <p>いつも堂々とした態度で頼りがいがあるんだあ……♡♡♡</p> <p>兄さんとは同学年なんだけど、2回留年してるらしいから少し年上ってことになるのかな？</p> <p>そのぶん、オトナしか知らない遊びも色々知ってて一緒にいるとホント楽しいの……♡♡♡</p>
嬉しそうにスマホを見つつ、兄に対しては冷たい→	<p>……あ、返信きた。</p> <p>んふふっ、やっぱり褒めてくれてる……♡♡♡</p>

	<p>早く渡してあげたいなあ……♡♡♡</p> <p>……兄さん、なにジロジロ見てんの？</p> <p>早くシコらないと知らないよ、私。</p>
	<p>……わっ、今夜オッケーだって！</p> <p>泊まりで一晩中シテもらえる……♡♡♡</p> <p>ああ、先輩、先輩、先輩……♡♡♡</p> <p>それじゃあ、すぐ準備して出ないと。</p>
兄への関心はまったく無い 感じで→	<p>……あー、兄さんどう？</p> <p>兄さんって早漏だし、もう気持ち良くなれたのかな？</p> <p>それともまだシコり足りない感じ？</p> <p>くすっ、まあどっちでもいいや。</p> <p>私は先輩の家にお呼ばれしたから行ってくるね。</p> <p>兄さんは後は独りでしこしこしててよ、邪魔しないからさ（笑）</p>
立ち上がりながら兄に下着 をプレゼント	<p>……そうだ、これ貸してあげる。</p> <p>んしょっ……と。</p> <p>はい、私の履き古した脱ぎたてパンツ♡</p> <p>もっと新しく可愛いのを履いていくからプレゼントするよ、それ。</p> <p>……おちんぽに巻いてしこしこすれば、これからのオナニ生活が刺激的になるんじゃない？（笑）</p>
	<p>じゃ、私は行くから。 ゆっくり愉しんでね、兄さん♡</p>

ドアをノックする音	
兄の部屋に入るなり、当然のように金銭要求	<p>兄さん、ちょっといい？</p> <p>ふふふっ……明日ちょっとお買い物に行くから、またお小遣いが欲しいの♡</p> <p>とりあえずまた5万あれば足りるかなあ。</p> <p>まだ貯金は平気だよねえ、兄さん♡</p>
断られるものの愛想笑いで食い下がる	<p>……えっ、ちょっとキツイ？</p> <p>私の頼みでも今回は厳しいって……？</p> <p>そこをなんとか助けてもらえないかな……っ♡</p>
さらに拒まれてしまい、不機嫌そうにボソッと→	<p>……はあ、ダメなんだ。</p> <p>兄さんてば、生意気だなあ……。</p>
開き直って馬鹿にした態度で→	<p>あっ、くすっ……聞こえちゃった？</p> <p>ん〜ん、聞き間違いなんかじゃないよ。</p> <p>私、いま兄さんのこと“生意気”って言ったの。</p> <p>ふふっ、そんなに驚かないでよ。</p> <p>だって仕方ないよね、それが本音なんだから……♡</p> <p>まさか兄さん、自分のことを“尊敬される兄”だなんて思っ てないよね。</p> <p>くすくすっ、だとしたらホント笑っちゃう。</p>
	<p>……ま、確かに前は尊敬してたよ。</p> <p>生真面目で優しくて、妹としても見習おうって思ってた。</p> <p>ふふっ、ふふふふっ……でも、ねえ？</p> <p>最近の兄さんの姿を見たら、そういうのもう無理でしょ(笑)</p> <p>軽いキスまでは……まあ、100歩譲って大目に見ても。妹に 手コキされて興奮するのってどうなの？(笑)</p> <p>軽いキスまでは……まあ、100歩譲って大目に見ても。妹に 手コキされて興奮するのってどうなの？(笑)</p> <p>挙句の果てに、この前なんて腰にしがみついてへこへこと 腰を振る始末……♡</p> <p>兄さんて、見境なく発情するワンちゃんか何かですかー？(笑)</p> <p>んふふっ……あんな姿を見せられたら無理。</p> <p>もう兄さんは尊敬の対象になんてなんないよ……♡</p>
	<p>……あ〜、そうだねえ。</p> <p>私にだけは恥ずかしいイキ顔を見せてもいい、そんなコト</p>

	<p>も言ってあげたっけ。 うん、別に見せてもいいよ。 兄さんが望むんならこれからも見てあげる、恥ずかしいトコロを♡</p> <p>だ、け、ど〜〜♡</p> <p>情けな〜い姿を晒すたびに、私の中の“兄さんへの好感度”は下がっていくよ♡ 当然だよ、実の妹に欲情しちゃうような人、フツーなら相手になんてしてもらえないよ。</p> <p>なのに……なんで私がこうして兄さんとお話を続けてあげているのか分かる？</p>
兄に立場を分らせるかのように強く「お・か・ね」→	<p>……お金だよ、お・か・ね♡</p> <p>兄さんがそれなりの金額を素直に出してくれるから、私も未だに付き合っているの。</p> <p>だからさ、兄さんがどうしてもお金を出したくない！っていうなら、もう私たちの関係はおしまい。</p> <p>尊敬できなくなった兄さんには何の興味も湧かないし、家でも学校でも一切近づかないでね♡</p>
すっかり兄を見下して言葉遣いも乱れていく	<p>……なあに、その縫うような目は。 くすっ、さては私に見捨てられたくないんだ？ そうだよね、せっかく仲良くやれてたんだもんね。 それに……私に抜いてもらえなくなるのが惜しいんでしょ。</p>
笑顔で馬鹿にしたように変態連呼→	<p>変態……♡ 変態、変態、変態……っ♡ 兄さんてばシスコンの変態なんだねえ(笑)</p> <p>それなら仕方ないね、諦めてお金を差し出すしかない♡</p> <p>私にお小遣いをくれるなら、これからは兄さんのことを好きでいてあげる。 まあ、今までの“好き”とはちょっと違ってくるけど。</p>
	<p>ふふっ、もう出す気になってるよね、5万円♡ 強制はしないよ、無理に取り上げることはしない。 ……兄さんから私に手渡すの。</p>

	兄さんを慰めてあげた、この小さくて柔らかい手のひらに、自分の意思でお金を乗せるんだよ……♡
お金を手渡すように仕向ける強い一言→	は～いっ……兄さんの“誠意”を見せて♡
(少し間を置き)	(兄がお金を差し出してくる)
卑屈な兄を見て楽しげに褒める→	……くすっ♡ くすくすくすっ、ありがとう、兄さん♡♡♡ よく出来ました、えらいえらい♡♡♡
	んふふっ、これでまた先輩に褒めてもらえる……♡ ……ああ、こっちの話♡  じゃあ約束通り、シスコンの変態兄さんに付き合っ てあげるね。 ほら、イチモツ……ううん、“おちんぼ”出して ごらん♡  このあと予定があって時間ないからさ、さっさと 脱ごうね？
(少し間を置き)	(裸になる兄)
もう兄に対する敬意はゼロという感じ→	……ん～、ふふふ。 何度見直してもやっぱり租チンだなあ……(笑)  なんか皮が多くて右曲がりになってる辺りも、普 段の使われ方が想像できて情けないよね……くすっ♡  ……ああ、私の口調が変わってきてるのが気 になる？  ごめんねー、前に“尊敬できる先輩”がいる って話したでしょ。その人の影響を受けちゃっ てるみたい♡  兄さんの前では一応気を遣ってたんだけど、も うその必要もないかな、って。  そしたら……はい、私は兄さんの部屋の床に 座ってちょっとスマホ弄ってるから。 兄さんはそこのベッドに座って、テキトーに しこしこしていいよ♡
「見てあげるだけ」宣言	……くすっ、なあに？ もしかして妹に何かシテもらうのを期待して たの？(笑)  言ったよね、“付き合っ てあげる”って。



	<p>私、別に何かサービスするなんて言った覚えがないよ。 兄さんの射精に付き合っただけ♡</p> <p>妹にオナミしてもらえるなんて、シスコンにはそれだけで ご褒美でしょ。 ほら、勝手にしこしこどうぞ♡</p> <p>……あっ、でも早く終わらせてね。</p> <p>いま先輩と連絡取ってて、予定が決まったら出掛けちゃう からさ。 そしたら兄さんがお楽しみの最中でも出てっちゃうよ♡</p>
床に座り、足を崩して小馬鹿にしながら挑発→	<p>くすっ、しこしこ、しこしこ♡ 特別にほら、足を崩して下着だけは見せてあげる。 好きなだけガン見してオナッていーよ♡♡♡ はい、しこしこ、しこしこ、しこしこ〜♡♡♡</p>
スマホを見ながら	<p>……おっ、先輩からメッセージだ。 今日はご自宅にいるんだあ……♡ あ、兄さんはその調子で勝手に頑張ってるね。</p>
先輩にメッセージの返信中	<p>……んと、予定通りいきました。 今夜お伺いしてもいいですか……っと。</p>
先輩の魅力を幸せそうに兄に語る	<p>……なーに、兄さん。先輩のことが気になるのかな？</p> <p>くすくすっ……先輩はね、兄さんと違ってすごく男らしいんだよ。</p> <p>ガッシリしてて筋肉もしっかりついてて、喧嘩もチョー強いんだって♡ いつも堂々とした態度で頼りがいがあるんだあ……♡♡♡ 兄さんとは同学年なんだけど、2回留年してるらしいから 少し年上ってことになるのかな？</p> <p>そのぶん、オトナしか知らない遊びも色々知ってて一緒に いるとホント楽しいの……♡♡♡</p>
嬉しそうにスマホを見つつ、兄に対しては冷たい→	<p>……あ、返信きた。 んふふっ、やっぱり褒めてくれてる……♡♡♡ 早く渡してあげたいなあ……♡♡♡ ……兄さん、なにジロジロ見てんの？ 早くシコらないと知らないよ、私。</p>
	<p>……わっ、今夜オッケーだって！ 泊まりで一晩中シテもらえる……♡♡♡ ああ、先輩、先輩、先輩……♡♡♡ それじゃあ、すぐ準備して出ないと。</p>

<p>兄への関心はまったく無い 感じで→</p>	<p>……あー、兄さんどう？ 兄さんって早漏だし、もう気持ち良くなれたのかな？ それともまだシコリ足りない感じ？</p> <p>くすっ、まあどっちでもいいや。</p> <p>私は先輩の家にお呼ばれしたから行ってくるね。 兄さんは後は独りでしこしこしててよ、邪魔しないからさ（笑）</p>
<p>立ち上がりながら兄に下着 をプレゼント</p>	<p>……そうだ、これ貸してあげる。 んしょっ……と。 はい、私の履き古した脱ぎたてパンツ♡ もっと新しく可愛いのを履いていくからプレゼントするよ、それ。</p> <p>……おちんぽに巻いてしこしこすれば、これからのオナニ ー生活が刺激的になるんじゃない？（笑）</p>
	<p>じゃ、私は行くから。 ゆっくり愉しんでね、兄さん♡</p>

■シーン（8）裏面

- ・同日、先輩の自宅を訪れてお金を貢ぐ。
- ・身体を使って晩酌の相手をし、そのまま肌を重ねていく。
- ・次回、トドメとして二人で兄と会うことに。

【08B】

ドアを開ける音	
先輩の自宅を訪れて	……お待たせしました、先輩♡ 私のこと、呼んでいただけて嬉しいです……♡
	……はい、もちろんちゃんとお金も持ってきました。 この前と同じ5万円です……受け取ってください、先輩♡
金額に不満そうな先輩に対して取り繕うように→	……えっ、す、少ない……ですか？ ご、ごめんなさい。  そうですね、こんな額じゃ先輩の飲み代にも足りないですよ……。
	……大丈夫です、アイツの人生はどうなっても構わないと決めましたから。先輩の思うように指示してください。 私は大好きな先輩に絶対服従します……♡♡♡  今夜は……どのようなことをご希望ですか、先輩？  ……お酒の、口移し……？ ふふっ、分かりました。 晩酌のお付き合いをすればいいんですね♡
（少し間を置き）	

お酒を注ぐ音	
先輩に口移しでお酒を呑ませる	<p>それでは、失礼します……♡</p> <p>先輩のお酒を口の中に含ませて……んっ……う、んう……♡</p> <p>ん、ふっ……じゅるっ……ごくっ……ごくっ……♡♡♡</p>
口の中のお酒を相手に流し込みながら、舌を絡めているイメージ→	<p>ふ、ふふっ……私の口は先輩の道具です……。</p> <p>お好きなだけ啜ってください、ね……♡</p> <p>んっ、む……んふっ、ん、ん……♡</p> <p>じゅるっ……じゅるるっ……ん……ん～♡♡♡</p> <p>くすっ、代わりに先輩の涎をいただいちゃいました……♡</p> <p>……お酒の肴に裸を見せろ、ですか？</p> <p>分かりました、全裸でお酌を続けます……♡</p>
衣擦れの音	(先輩の前で全裸になる)
心底幸せそうに微笑みながら身体を見せつける→	<p>……んっ……これで、いいですかぁ？</p> <p>ふふっ、見てください、このカラダ。</p> <p>すっかり先輩に作り変えられちゃいましたよね……♡</p> <p>だってほら、このおっぱい。</p> <p>絶対似合うからって言われて、乳首にピアスを付けちゃいましたし……。</p> <p>おヘソからアソコにかけて、タトウーまで入れさせられました……♡♡♡</p> <p>女の子のカラダをこんなにしちゃうなんて、くすくすっ、本当に酷い先輩です……♡</p>
	<p>この乳首のピアスも、アソコのタトウーも、私が先輩好みのオンナに仕上げられた証。</p> <p>このカラダが先輩の所有物、先輩専用のモノであることの証明……♡♡♡</p> <p>……お陰で私は人前で肌を晒せなくなりました。</p> <p>私には、もう先輩のオンナとして生きていく道しかない……♡♡♡</p> <p>今まで真面目に生きてきた人生、悪～い先輩の気まぐれで簡単に壊されて。</p> <p>その男性のために尽くすような馬鹿女に仕込まれちゃった♡</p>

	♡♡
お酒と唾液が混ざり合った ディープキス	んっ、先輩い……じゅるっ、じゅるるっ……ん、んっ…… ごくっ……ごくっ……♡
甘えた声で先輩に縋りつく →	だからあ、もう先輩のためなら何だってします……♡♡♡ 次はどうすればいいですか？ アイツから幾らくらい搾取してやればいいですか？ アイツ、マジで弱いからどうとでも出来ますよ……♡♡♡
	……えっ、アイツに会わせろ……ですか。  私たちの熱愛ぶりを見せつけて……くすっ、財布に作り変える……？ やだ、想像して興奮してしまいました♡  分かりました、あのゴミみたいな兄に自覚させてやりますね。  先輩がどれだけ強い雄なのか、自分がどれだけ劣った雄なのか。 ぜ〜んぶ教えて、アイツの尊厳を砕いてやります……♡♡♡♡♡

■シーン（9）

- ・ 日を改め、先輩が待つ空き教室に兄を引き込む。
- ・ そこで先輩との行為を見せつけ、兄に”自分は搾取対象”なのだと分からせていく。
- ・ 無様な姿を兄を財布認定して終了。

【09】

兄の教室を訪れて	……に～いさんっ♡ ふふっ、もう今日の授業は終わりだよな？  くすっ……くすくすくすっ。 じゃあ、また少し付き合ってもらえるかな。 前に一度行った新館奥の空き教室。 そこで兄さんにとっても楽しいコトを教えてあげるよ♡  ……ふふふっ、やだなあ、なんか警戒してる？ 大丈夫だよ、今日はお小遣いとかもいらないから。 ほらほら、早く行こっ♡
（少し間を置き）	（空き教室に移動）
先輩には媚びを売り、兄には辛辣→	……失礼します、先輩♡♡♡ ごめんなさい、随分お待たせしちゃいましたよね。 アイツ、なかなか足を動かさなくて。 ホントに愚鈍で使えない人です……。
教室の入り口で立ち尽くす兄を見て	……どうしたの、兄さん。 入口でそんなに硬直しちゃって？（笑） 私がいま言った”愚鈍な人”って兄さんのことなんだよ？  はい、呆然としてる暇があるならさっさとこっちに来てご挨拶して。

先輩の隣に移動しながら	<p>ほら、こちらの方が前々からお話してた“先輩”さん♡ 目上の人にはちゃんとご挨拶しなきゃダメでしょ？</p> <p>……えっ、先輩、そんなこと気にしない……ですか。 ふふっ、先輩ってば心が広いなあ♡ 神経質なアイツとは大違いです♡♡♡</p> <p>……兄さんは先輩の寛大さに感謝してよね。</p>
先輩に腕を絡ませ、幸せそうに身を預けつつ→	<p>んふふっ……でね、ほら見てよ。 先輩の身体って無茶苦茶逞しいと思わない？</p> <p>こうやって……んっ、私が身体に抱きついてても、手が回らないくらいガッシリした体格なんだよ……♡</p> <p>それに身長も、兄さんより頭2個分くらいは大きいんじゃないかな？ なんかこう……“優秀な雄”って感じの身体だよね……♡♡♡</p> <p>……で、どう思ったのかな、兄さんは。 くすっ……なんかガクガク震えてない？ あっ、もしかして先輩のことが怖いのかな……(笑)</p> <p>そうだよね～、兄さんは今まで真面目で面白味のない人生歩んできたんだもんね～。 先輩みたいな不良を見るとビビっちゃうんだ、くすくすくすっ(笑)</p>
兄に見せつけるかのように先輩と幾度もキス	<p>……あんっ、先輩♡ キスですね、分かりました……♡♡♡</p> <p>んっ……ちゅっ……んふ、んっ……ちゅっ……ちゅっ……♡ ふふっ、実の兄に対して……んっ、ちゅっ……♡ 言い過ぎちゃったかな……♡♡♡</p> <p>でもでもお、ちゅっ、ちゅっ……アイツに、先輩の優秀さを教えてあげたくて……♡♡♡</p>
	<p>……あはっ、兄さんてば、なんて惨めな顔してるの？ 流石に察してはいたんでしょ、私と先輩が“こういう関係”だってこと……♡</p> <p>今日はね……兄さんだけに特等席で見せてあげる。 私が先輩に抱かれる姿を、ね♡♡</p> <p>さあ、そこの埃が被った椅子にでも座ってて。 じっくり目に焼き付けてオナネタにしてもいいからさ……(笑)</p>
(少し間を置き)	(兄は茫然自失の状態で椅子に座る)

	<p>……お待たせしました、先輩♡ じゃあ私、先輩専用の雌になりますね……♡</p>
衣擦れの音	<p>(服を脱いで全裸になる)</p>
先輩に作り変えられた身体 を兄に披露する	<p>……制服、ぜ～んぶ脱ぎました♡</p> <p>もう最近は先輩の視線を受けるだけで感じてしちゃいます ……♡</p> <p>そういえば兄さんには肌を見せてあげたこと無かったっけ。 どうかな、綺麗でしょ、私♡ この乳首についてるピアスはね、先輩が私のために見繕ってくれたんだよ。</p> <p>……くすっ、兄さんと一緒にいた時もずっとコレがついてたの。それに……ほら、このタトゥーも素敵だよな♡ これさあ、先輩の名前を崩して彫り込んであるんだあ……♡ ♡♡</p> <p>だから、もうこのカラダは先輩専用。 私は……兄さんの妹は、怖～い不良の先輩のお、ん、な♡♡♡ ♡♡</p>
立ったままの先輩の足元に 跪きながら→	<p>……ふふっ、先輩は着たままで大丈夫ですよ。 跪いて、おちんぽだけ取り出しちゃいますね……♡♡♡</p>
衣擦れの音	<p>(先輩の性器を取り出す)</p>
	<p>……わっ、スゴイ……っ♡ こんなにガチガチに勃起させて……。 私で射精するために沢山の精子を作ってくれてるんですよね。 ああ……嬉しいです、私……♡♡♡</p>
口で咥え込んでご奉仕→	<p>んっ、ふ……じゅぼっ……じゅぼっ……♡ お口で咥えて、もっと大きくしますね……♡</p> <p>ん、じゅぶっ、んふ、んっ……じゅぼっ……じゅぼっ……♡</p> <p>せ……先輩みたいな、強くて優秀な男性が……んっ♡ 射精、してくれるんだから……んぶっ、んっ、んっ……♡</p>



	<p>わ、私は……先輩の女として、んっ、尽くすのが……ん、じゅぶっ……♡</p> <p>あ、あ、当たり前……なの……っ、じゅぶぶぶっ……♡♡♡♡♡</p>
<p>すっかり惚けた状態で先輩にセックスを懇願。兄には冷たい態度→</p>	<p>……はあ、はあ、はあ……♡</p> <p>先輩、身体が疼きます……身体が先輩の種、受け入れたがってる……♡♡♡</p> <p>……お、男らしい本物のセックス、アイツに、あの惨めな兄さんに見せつけてやってください♡♡♡</p> <p>に、兄さんは絶対そこを動かないでよ。 いいところなんだから、邪魔したらマジで絶交だから……！</p> <p>あっ……きて、きて、せんばい……っ♡♡♡</p>
<p>挿入音</p>	
<p>だらしのない喘ぎ声→</p>	<p>んっ、あっ、あああっ……♡♡♡</p> <p>は、いっ、て、きた……っ♡♡♡</p> <p>先輩の、極太のおちんぼ……お、女を仕留める、優秀なおちんぼ……っ♡♡♡♡♡</p>
<p>抽送を繰り返す音</p>	
<p>先輩とのセックスに夢中、兄に先輩の凄さを分からせるかのように→</p>	<p>あんっ、あっ、ああ、あっ♡♡♡</p> <p>や、やばいよお、こ、これ……っ、がっちりハマってる……っ♡♡♡♡♡</p> <p>み、見てよ、兄さん、ほら、ほらほらっ♡♡♡♡♡</p> <p>これが先輩のおちんぼ♡♡♡　これが先輩のセックス♡♡♡</p> <p>ち、力づくでひとつに繋がって……ご、強引に穴の形を変えて……っ。</p> <p>女の子を、じ、自分のモノにしちゃうの……っ♡♡♡♡♡</p> <p>んっ、うっ、あひっ、あっ、ああ♡♡♡</p> <p>せ、先輩の手にかかれば、どんな女の子でも落とされちゃう♡♡♡</p> <p>先輩に目をつけられた女の子は、そ、そこで人生が終わるの確定♡♡♡</p> <p>はあっ、はあっ……さ、最初は拒んでいても、一晩経てばすっかり考え方も変えられて……先輩に仕留めてもらったこと、幸せに感じるようになってっちゃうの……っ♡♡♡♡♡</p>
	<p>に、兄さん、私も……そうなんだよ♡</p>

	<p>兄さんが知らないうちに、モタモタしてるうちに、私は先輩に目をつけられた♡</p> <p>知らないこと沢山教え込まれたの、先輩にカラダが馴染むまでハメ倒されたの♡♡♡</p> <p>あっ、あああっ、あんっ、あっ、ああっ♡♡♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
	<p>……はあっ……ああ……あああ……す、すごい、すごい……♡♡♡</p> <p>こんな乱暴で強引なセックス、経験しちゃったら……女の子は絶対に勝てない……♡♡♡♡♡</p> <p>わ、悪い男の人だって、頭で理解してても……ここが……下の穴がこの人を選んじゃう……♡♡♡♡♡</p>
甘えた声で射精を懇願→	<p>……だ、出してください、先輩……♡</p> <p>先輩の悪～い不良の遺伝子、私に植えつけちゃってください……♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
絶頂が近づき、余裕がなくなっていく雰囲気→	<p>あんっ、あっ、あっ、あっ、せんぱい、せんぱいっ……♡♡♡♡♡</p> <p>♡♡</p> <p>そ、そこで見てて兄さん……っ♡</p> <p>私が、実の妹が、先輩の精子を受け取る瞬間♡♡♡</p> <p>に……兄さんが怖くて嫌いな不良の遺伝子。</p> <p>大好きな妹がどぶどぶってお腹に受け入れるよ……っ♡♡♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
どんどん余裕がなくなっていく→	<p>うあっ、あんっ、あ、あ、あ、あ……っ♡♡♡♡♡</p> <p>せんぱいっ、せんぱい、せんぱい、せんぱい♡♡♡♡♡</p> <p>大好きですっ、愛して、ます……っ♡♡♡♡♡</p>
抽送を繰り返す音	
絶頂を迎えたイメージ→	<p>あああっ、あっ、ああああああああああ～～～……っ♡♡♡♡♡</p> <p>♡♡♡</p>
(少し間を置き)	
荒い呼吸を整えながら→	<p>……っはあ、はあ、はあ、はあ……♡♡♡</p>

	<p>き、来てる……いっぱい、注ぎ込んでもらえてる……♡♡♡</p> <p>う……嬉しいです、私で射精してくれてありがとうございます、先輩……♡♡♡♡♡</p>
	<p>……ふふっ♡ はい、分かってます、先輩。 最後の仕上げは任せてください……♡</p>
ゆっくりとした足音	<p>(兄に近づいていく)</p>
情けない兄を馬鹿にしながら→	<p>……どう、兄さん。 特等席での観賞を楽しんでもらえたかな？(笑)</p> <p>ん～、ふふふ……すごくショックを受けてると思うけど。 しっかり股間だけは盛り上がっちゃってるんだ。</p> <p>くすっ、女になってる妹を見て勃起させるとか……マジで劣等種だね、兄さんは♡</p> <p>いいよ、シゴいてみなよ、今ここで♡</p> <p>……ふふっ、なにを躊躇してるの？ まさかまだちっぽけな自尊心守ろうとしてるのかなぁ？(笑)</p> <p>あのね、兄さんが童貞のシスコンだってこと、先輩は全部知ってるんだよ。 キスも、手コキも、セックスごっこをしてあげたのも…… ぜ～んぶ先輩の指示♡</p> <p>でなきゃ、くすっ……兄さんなんて相手にしないっての。</p>
	<p>……自分の立場、少しは理解できた？ なら早くおちんぽ出してしこしこしてみなよ♡</p> <p>……あっ、とと、忘れてた！</p> <p>ふふっ、兄さんが気持ちよ～くオナれるように、優しい妹がローションをプレゼントしてあげるね……♡</p>
くちゅくちゅ音	<p>(股から滴る先輩の精液を手取る)</p>
兄に先輩の精液を差し出す	<p>んっ……う……、ふふっ……♡ はい、どうぞ。 私の穴から溢れ出した、“先輩の精液”だよ……♡♡♡</p> <p>ほら、よ～く見てごらん。 兄さんの薄い精子と違って、とっても濃くてニオイもスゴイでしょ……♡♡♡</p>

	<p>くすっ……これを兄さんの粗末なおちんぽに馴染ませれば、少しは先輩の男らしさが身につくかもしれないよ？(笑)</p> <p>さあ、私と先輩の前に跪いて手を出して。 どろどろの精子、手渡してあげる……♡♡♡</p>
くちゅくちゅ音	(兄に精液を手渡す)
楽しげな微笑みを浮かべつつ、兄に自慰を促す	<p>……ふふっ、ふふふっ。 受け取っちゃったね、他人の……他の男性の精子♡ しかも、その精子は妹のカラダを仕留めた精子なんだよ♡</p> <p>じゃあ、それを自分のおちんぽに塗ってしこしこしちゃおっか♡ はいっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
立場を分からせるかのように強く「上、上、上」→	<p>……どう、同じ男なんだから分かるよね？ 自分より濃くて、男臭くて、優秀な子種だって実感しちゃう……♡ 雄として完全に先輩が上、上、上……っ♡♡♡</p> <p>それを実感しながら、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	<p>……その強〜い精子には、女の子は誰にも勝てない♡ 兄さんの妹もたった一晩で変えられちゃった♡</p> <p>真面目に生きてきた人生、築き上げてきた価値観、全部カントンに崩されて。 貞操観念のユルい、先輩好みの女に作り替えられちゃったの……♡♡♡</p>
“先輩の女でオナッてごめんなさい”と言わせるように強調→	<p>んふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡♡♡ 私が先輩の女だってこと、理解してくれたでしょ？</p> <p>……つまりい、兄さんはいま、他人の女でオナッてるんだよ？ これは”ごめんなさい”しないといけないよね。</p> <p>くすっ……しこしこしながら先輩に謝ろっか。 ”先輩の女でオナッてごめんなさい”って言うの♡</p> <p>言えるよね、兄さんはイイ子なんだからキチンと謝れるよね♡</p>
	<p>”先輩の女でオナッてごめんなさい”</p> <p>はい、どーぞっ♡</p>

(少し間を置き)	
	<p>……ふふっ、一度じゃ気持ちは伝わらないよ。 そうですよね、先輩♡</p> <p>……はい……はい、分かりました♡ 兄さん、そのまま謝りながらオナッて射精してみせて♡ 先輩からのご命令なんだから、ちゃ〜んと聞くんだよ？</p>
“先輩の女でオナッてごめんなさい”と言わせるように強調→	<p>ほら、”先輩の女でオナッてごめんなさい”♡</p> <p>何度も繰り返しながら、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡♡♡</p>
(少し間を置き)	(謝りながら自慰に耽る兄を見て)
無様な兄をくすくすと見下しながら→	<p>……くすっ、なんて惨めで間抜けな姿。 これが実の兄とか信じたくないなー(笑)</p> <p>……気持ち良さそうにしこしこしちゃって。</p> <p>他の男性の前で、その男性の精子をローションに使って。 それでシコれるんだから、ホントに劣等種だよ……(笑)</p> <p>しこしこ、しこしこ、男として最下層の兄さん♡ 死ぬまで使い道のない弱小精子、せめて先輩を楽しませるために使おうね♡</p>
	<p>……さあ、合図をしてあげるから必死に謝り続けて、懸命にシコり続けて。</p> <p>私の先輩の2人の前で無様な射精姿を晒すの♡</p>
トドメのカウントダウン	はい、ご〜……♡
(少し間を置き)	
	よん……♡
(少し間を置き)	
	さん……♡
(少し間を置き)	
	に〜……♡
(少し間を置き)	

溜める感じ→	……くすっ、いち。
(少し間を置き)	
一気にトドメの合図→	ぜーろっ♡♡♡ ぜろっ、ぜろっ、ぜろっ♡♡♡♡♡
(少し間を置き)	(射精タイム)
	<p>……ふふ、ふふふっ、見てください、先輩♡ 気持ち悪く息を荒げて、薄〜い精子を床に吐き出す姿。 なんかもう、哀れすぎてマジでウケます……(笑)</p> <p>……無駄撃ちご苦労さま、兄さん♡ 独りで気持ちよくなれて良かったねえ？(笑)</p>
兄を財布認定するシメの言葉	<p>くすっ……これで兄さんの立場は決定♡ これからは兄さんの人生、丸ごと先輩に捧げてもらいます♡♡♡</p> <p>だってそうだよ、兄さんよりも先輩の方がずっと、ずっと、ず〜〜〜っと優れているんだもん。 劣ってる雄は、優秀な雄が安心して子種を残せるようにご奉仕するのが自然でしょう？(笑)</p> <p>大切な妹と、優秀で逞しい先輩。 そんな2人に尽くせるんだから兄さんは幸せ者だよ♡</p> <p>便利な財布くんになってくれれば、こうして私たちが愛し合う姿を見せてあげるし、また先輩の精子も恵んであげる♡</p> <p>だからご褒美をもらえるように頑張るんだよー、</p> <p>”大好きな兄さん”♡♡♡ くすっ、くすくすくすっ♡♡♡♡♡</p>